

八幡失業者同盟西産へ合同提唱

八幡失業者同盟は八幡市に於ける自由労働者組合（金）失業者を糾合して、昭和七年六月往年淺原健三と並稱された岡士四田健太郎が中心となり組織した地方的單獨組合であつて、左翼理論を奉し日米米取なる闘争を展開し外つたのであるが、昭和八年十月四日の以後は成重誠、秋山六郎等に依り今日に及んだのである。然るに去る十一月十二日開催したる緊急執行委員会に於て委員長成重誠の提案に依る戦線統一に歸する件を議題とし種々論議の結果將來の發展性を考慮し指導精神の相互進する日本四師産業労働組合に對し合同提唱をなすこととなり、其の合同促進準備委員として成重誠を委員長に十一名の委員を選任し之れが對策交渉を一任したのである。

かくて八幡失業者同盟より西産に對する戦線統一の正式申込とな

り西産側は矢向の併合を條件に之れに應ずることとなつたので十一月二十五日夜兩組合の共同委員會を八幡市所在の西産本部事務所に開催し

西産八幡支部より安部兼藏外五名

西産筑電聯合會より徳永卯作

八幡矢向より成重誠外十二名

出席して、共同委員長成重誠より西産の一組合として無條件加盟を表明し之れに對し西産本部執行委員西岡一は矢向の無條件合同（矢向併合の上）を前提として承認することとなり論議一致合同に賛成可決したのである。正式議案は協調會開催の上で發表する筈であるが、應えて十一月二十八日夜西産八幡支部執行委員會を開催して、八幡矢向の西産本部加盟に依る西産八幡支部の役員を次の通り改選したのである。